

2018-2019
RIテーマ



インスピレーションになるう

創立/1954年(昭和29年)6月30日
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

例会日/毎週火曜日
会長/田中大成

例会場/武生商工会館
幹事/三田村久光
会報委員長/塩田憲康

第3127回 例会記録 令和元年5月21日(火)

本日出席会員32名

メイクアップ(前々回)6名

出席率(前々回補正)78.0%

ロータリーソング「我等の生業」

会員総数
52名

会長挨拶 第65代会長 田中大成



今日は炉辺会合の発表です。発表者の皆さんよろしくお願いたします。先週の土曜日に、県下ロータリークラブ現新会長幹事会が、武生商工会議所で、武生府中RCのホストの元、開催されました。その中で、2018-19年度の代表的な事業報告と、2019-20年度重点事業計画の発表が、3クラブありました。

そのメンバーの中にJC時代の先輩、後輩も居て、懐かしい話をして、楽しい時間を過ごさせていただきました。その中の一人が、丸岡ロータリークラブのエレクトの東角先輩でした。彼は1997年の福井県の青年会議所の会長で、その年の事業で、タイのプラティープ財団へ、県下の学生を派遣し、現地の子供たちとの交流事業を行いました。

あれから、22年経ちましたが、いまだに、タイとの交流を絶たずに活動のフィールドを青年会議所からロータリーに変え、継続してきました。大したものだと、感心をしてきました。丸岡ロータリークラブは、来年度、中古の消防ポンプをタイのスラム街に送るとのこと。大変な事業だと思いました。県下ロータリークラブの活動内容の発表を聞いていると、大変な刺激を受けることができました。良い経験ができたと思います。

プログラム

炉辺会合報告「新元号(令和)への展望」

【1班】日時:5月7日 18:00～ 場所:神崎家
責任者:佐々木忠彦 発表者:今村清孝

よいよ平成最後の炉辺会合ということで気合を入れて、何とか色々な話をすることができました。

話題は今回の知事選から杉本派の県会議員の話などで盛り上がりながら、テーマについての意見が出されました。その中で、ロータリーを成長させるためには、柔軟性を活かして新しいクラブや新しいスタイルを考えた方がいいのではないかと。また、私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能なより良い変化を生んでいくためにはどうしたらいいか。ロータリーは、人びとの生活をより良くするための変化をもたらそうと努力していますが、「令和」を迎えて何かできることがないか。ロータリーは幅広い奉仕活動でボランティアとなり、資金的なりソースを捧げていますが、「令和」を迎えて今後は活動の結果と成果をより効果的に挙げられるように図ることはできないか。

人々は大きく変化する時代のなかで、新しい人間関係を築く方法を求めています。人々の求めていることをロータリーで見つけられるよう、多くの人々や組織が参加できる機会を創り出すことで、よりロータリーの活動が楽しいものになり、メンバーの増強につながっていくのではないかと。それによって公共のイメージや認知度の向上にもつながり、参加者の積極的な関りをも促すことになると思います。

最後に、「令和」を記念してメンバー全員で思い出に残るような事業ができないかという提案があり、会合は終了しました。その後の食事会では大変楽しい時間を過ごし、平成最後の炉辺会合を終えました。

ニコニコ箱 …… 13,000円 累計 1,476,000円

- ・炉辺会合発表よろしくお願いたします。 【田中大成】【三田村久光】【上野 巖】
- ・第2班炉辺会合発表よろしくお願いたします。【三村昌之】
- ・炉辺発表させていただきます。 【野田義弘】
- ・ピンチヒッターで炉辺の発表させていただきます。 【井上常宏】
- ・5/21、28欠席させていただきます。 【西本久美子】
- ・先週の例会、欠席しました。今日は炉辺会合の報告をさせていただきます。 【今村清孝】

例会変更情報/福井県内ビジター受付(5月29日~6月11日)

5月30日 福井水仙RC 18:00~18:30 福井パレスホテル
5月31日 三国RC 12:00~12:30 三国観光ホテルフロント
*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーのホームページ等にてご確認ください。

や宗教の争いが世界各地に広がった時代であった。昭和の世界大戦後、長く続いた東西冷戦は終結したが、その一方新たな国々が火種となり、現在に至っている。また平成の30年間は、大震災や異常気象に起因する大きな災害が多数発生した。そのような困難な中、人々の間に災害支援をきっかけとする「ボランティア精神」が根付いてきた時代でもあった。これまでの改元は、天皇の崩御しての改元であったので、何事も自粛ムードとなったが、今回は上皇への即位であるため祝賀ムードとなり、明るい未来を感じさせるものであったことが印象深かった。

以上のような平成の時代に続く令和がどのような時代になるであろうか?テーマに「人類の進歩と調和」をかけた昭和45年の大阪万国博覧会では、「月の石」も注目を集めたが、それ以上に各企業パビリオンにおける「未来」の展示が目をつけた。それから約50年、その際提示されたたくさんの技術、例えば携帯電話やリアモーターカーが現実のものとなった。2025年には再び大阪で万博が開催されるが、そのテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」である。この50年間の技術の進展とその後の提示は、どの様なものとなるであろうか、楽しみである、という様なことが話し合われた。

また今回改元に合わせ実施された10連休についても話題になり、令和新時代の福井の有り様について、インバウンドが話題であるが、福井県への来訪者数は最下位である。先の改元に伴う祝賀ムードが引き続き中、あと4年後に迫った新幹線の開業と共にインバウンド効果が大きく現れることを期待するところである。その後お料理を頂きながら、10連休の過ごし方などなどの話題で盛り上がった。

【3班】日時:4月23日 18:00～ 場所:大江戸別館

責任者:米岡房直 発表者:野田義弘

参加者:藤谷家也、宮前貴司、西野昌美



今回のテーマは『新元号 令和への展望』についてということで、責任者の米岡さんより、大変大きく難しいテーマではありますが、皆さんがこれから望むロータリー活動や、

ロータリー活動の今後の成長のためにロータリアンとして何が必要かなどについて、各自の考えや意見をお願いしますということで話し合いが始まりました。ただ、どうしてもテーマが難しく、何度も話は横道に逸れましたが、平成最後の例会も終わり、い

<p>本日(5月28日)の例会 RYLA報告 北陸電力(株)丹南支店 藤岡大介氏</p>	<p>6月4日 休 会</p>	<p>6月11日 第一例会行事 ゲスト卓話 福井RC 長谷美左子氏</p>	<p>6月18日 新入会員卓話 藤本幸紀会員</p>
---	---------------------	---	------------------------------------

参加者:辻岡俊三、竹内紀昭、矢尾主成、上野 巖、奥村 充



大多数の意見は、ロータリーの活動が見えにくいことから、会員増強の観点からも、家族や地域社会等を巻き込んだ活動が必要ではないかという点に集約された。

例えば、奉仕活動等を実施し、その後、バーベキューなどを実施するプランや、自然に親しむ観点から、日野川のいかだ下りや地引網の体験、サンショウウオの保護、ホテルの保護と鑑賞などの催し物も、いいのではないかと意見もあった。また、ロータリーとしては、世界的レベルでは「地球の温暖化対策」に貢献すること、地域レベルでは「子供の貧困」対策ということで、「経済支援」や「学習支援」に取り組むことは、大事であるとの意見もあった。なお、愛山荘で、一度、夜間例会を開催したらよいの意見もあった。その他、会員から、年号が変わったことを機会に、新鮮な気持ちで、ロータリー活動に参加することで、親睦を深めたり、新しいものに挑戦するなど自己研鑽に励みたい旨の抱負が語られ、出席者の共感を得た。

【2班】日時:5月7日 18:00～ 場所:西もと

責任者:奥村 忠 発表者:井上常宏

参加者:内藤義介、三村昌之、宇野晃成、塩田憲康、藤本幸紀



責任者の奥村会員より、資料に基づき新元号「令和」についての解説があった。令和の出典は万葉集の「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」であり、従来は漢文などからの出典であったのに対し、初めて日本の古典からの出典となった。令月は陰暦の2月にあたり現代の暦では、3月のことである。

これまでの平成の時代は、日本においては「戦争」のない時代であったが、海外へ目を向けると、民族